

平成25年度 まちの 台所事情

町民のみなさんから納めていただいた税金などが、どのように使われ町の財政が運営されているか、平成25年度決算の概要をお知らせいたします。

※お問い合わせは、企画財政課財政担当(内線261) 富川・岩隈まで

**収入は、前年度から
7.8%増加**

平成25年度の決算は、6会計全体の収入で92億7013万円、支出では87億9315万円となりました。前年度と比べて、収入は6億7152万円(7.8%)の増、支出は、6億4807万円(8.0%)の増となりました。

翌年度に繰り越して使う財源を除いた実質収支は、2億8761万円の黒字となりました。このうち一般会計は、2億6724万円の黒字決算となりました。

一般会計【収入】
地方交付税・国庫支出金は減少、寄付金は増加

国から交付される地方交付税交付金は31億8112万円で、一般会計の収入全体の43.3%(図2)を占めています。前年度比較で4527万円(1.4%)の減少となりました。

町税は6億8740万円で、3957万円(6.1%)増加となりました。

国庫支出金は5億1728万円で、農林水産関係事業の完了などにより、6308万円(10.9%)減少しました。

寄付金はふるさと納税制度による寄付が増えたことにより、2億4525万円で、2億2775万円(1301.4%)増加となりました。

町の借金である町債は8億8054万円で、1163万円(1.3%)減少となりました。

一般会計【支出】

総務費では、緊急情報を住民に直接かつ迅速に伝達するため全国瞬時警報システム緊急整備事業を実施しました。また、前年に引き続き戸籍事務をコンピュータで処理する戸籍システム導入事業を実施しました。

民生費では、認定こども園建設に向けた実施設計業務を実施しました。ま

た、義務教育期間中の医療費を助成する子ども医療費助成事業を継続して行いました。

農林水産業費では、黒毛和牛ブランド化肥育促進事業、十勝ナイタイ和牛ブランド化EIT推進事業や農道整備事業などを実施しました。ナイタイ高原牧場については、指定管理者制度を導入し管理運営を行いました。また、木質バイオマスの利活用について調査・検討を実施しました。

商工費では、継続して、商店街活性化対策事業を実施しました。また、本町の観光資源や特産品などの魅力を発信する、魅力発信キャンペーン事業を実施しました。

土木費では、除雪作業の効率化を図るため除雪専用車を購入しました。また、定住促進対策として、民間活力による賃貸住宅の建設に助成する定住促進賃貸住宅建設費助成事業を実施するとともに、町内業者の施工による新築またはリフォームに対し助成する定住住宅建設等促進奨励事業を実施しました。

消防費では、前年に引き続き地域防災計画の見直し業務を実施し計画の全面改訂をしました。

教育費では、継続して、魅力ある学校づくりに取り組み上士幌高等学校振興会に補助を実施しました。また、スポーツセンター耐震改修事業及び上士幌小学校校舎改修事業を実施しました。

特別会計

特別会計は、国民健康保険・水道・後期高齢者・下水道・介護保険の5事業で、決算状況は決算総括表(表1)のとおりとなっています。

このうち水道事業については、老朽化した浄水場を更新するための上士幌浄水場建設工事や配水管更新工事などを実施しました。

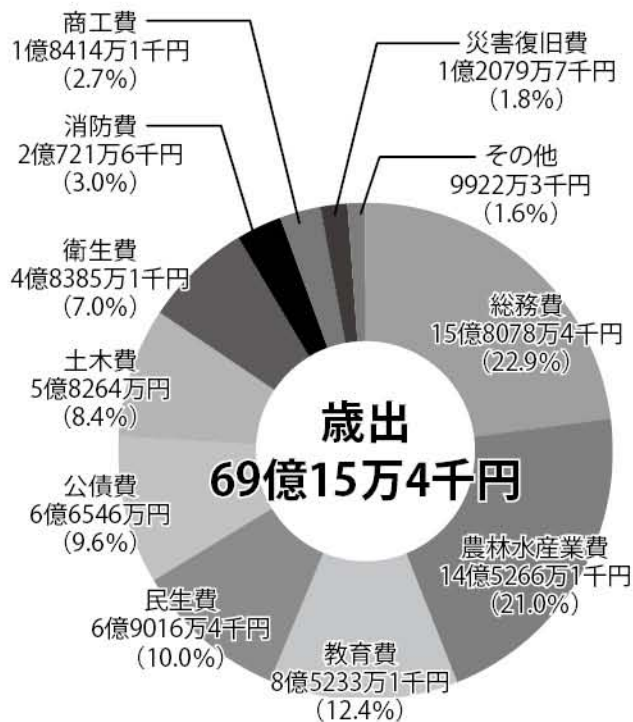
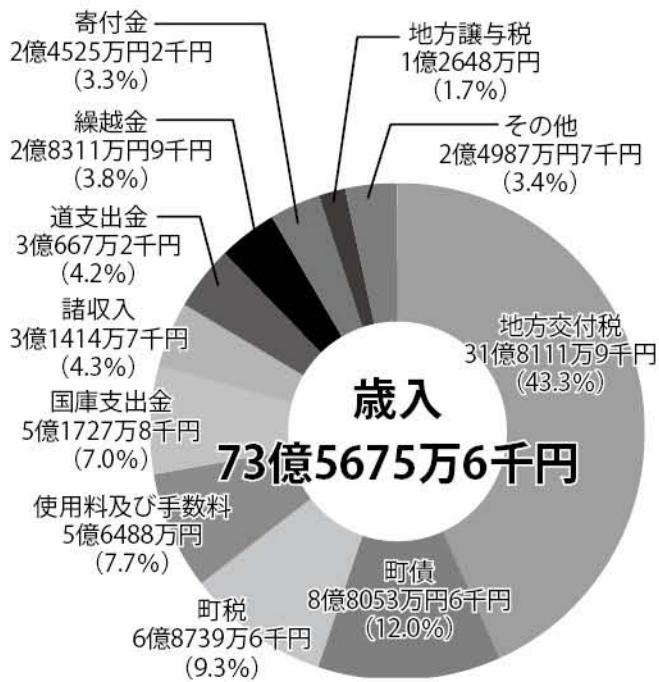
**借金総額約79億円
借入金残高は増加**

町が公共施設の建設や道路・下水道などの整備のため、国などから借りている借入金の平成25年度末現在高は、79億4288万円で前年比1億6944万円の増となり(表3)、借金残高総額が増加しました。

貯金総額約62億円

将来のまちづくりのために積み立っている積立金の残高は18基金合計で61億7207万円となっています(表4)。このうち社会福祉など特定の目的のための基金を除く、災害復旧や公共施設整備のための基金(財政調整基金・公共施設整備基金)は、4億1134万円で前年比4億7544万円増加しました。

■図2 一般会計収支の内訳



＊平成25年度に

町民1人あたりに使ったお金 **176万7千円**
(前年:161万9千円)

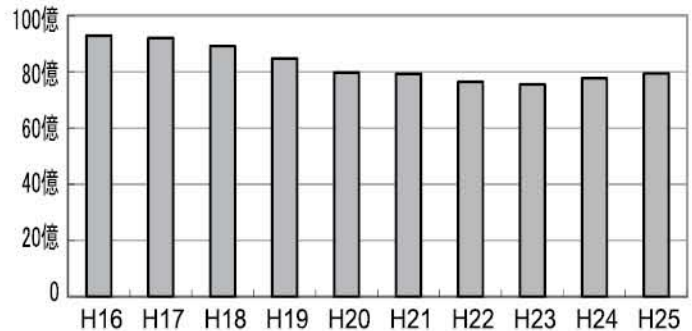
町民1人あたりの町税負担額 **13万8千円**
(前年:12万9千円)

※計算基礎人口 4,975人(平成26年3月末現在)

■表1 決算総括表

会計	区分	平成25年度	平成24年度	増減率
一般会計	歳入	73億5675万6千円	68億3615万7千円	7.6%
	歳出	69億15万4千円	63億9803万8千円	7.8%
国保会計	歳入	8億160万9千円	7億5036万1千円	6.8%
	歳出	7億9804万3千円	7億4700万9千円	6.8%
水道会計	歳入	3億4862万1千円	1億9765万6千円	76.4%
	歳出	3億4809万6千円	1億9704万4千円	76.7%
後期高齢者医療会計	歳入	8462万1千円	7939万5千円	6.6%
	歳出	8193万1千円	7500万3千円	9.2%
下水道会計	歳入	2億2355万9千円	2億8280万7千円	△20.9%
	歳出	2億2317万2千円	2億8235万7千円	△21.0%
介護保険会計	歳入	4億5495万9千円	4億5223万3千円	0.6%
	歳出	4億4175万3千円	4億4563万2千円	△0.9%
総計	歳入	92億7012万5千円	85億9860万9千円	7.8%
	歳出	87億9314万9千円	81億4508万3千円	8.0%

■図3 町債(借入金)現在高の推移



■表4 基金(積立金)現在高の状況

基金の名称	平成25年度末現在高	基金設置の目的
財政調整基金	16億7951万1千円	災害や一時的な財源不足等の場合のための財源
減債基金	9億1863万9千円	町の借入金の返済財源
公共施設整備基金	23億3183万0千円	将来の公共施設の整備費用のための財源
土幌線代替輸送確保基金	2億2976万8千円	旧土幌線の代替バスの赤字補てん・購入補助、交通公園等管理経費等
旧国鉄土幌線コンクリートアーチ橋保存基金	3億412万7千円	旧国鉄土幌線アーチ橋の保存対策及び解体撤去の際の財源
学校教育施設整備基金	1億415万6千円	学校教育施設の建設費用のための財源
社会福祉基金	1億5541万4千円	援護を要する高齢者及び重度障がい者等の福祉対策のための財源
土地開発基金	1億748万9千円	将来の公共施設用地の取得基金
その他(10基金)	3億4113万8千円	
合計	61億7207万2千円	